

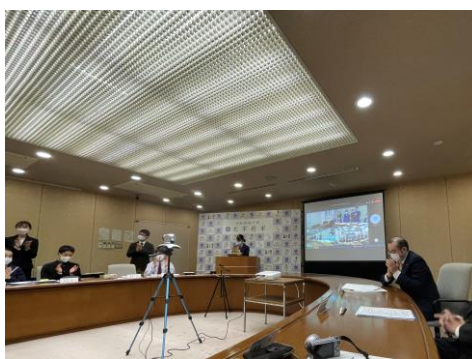
## ふるさと大使とふるさと夢プロジェクト

昨日、太宰府市役所において、太宰府市の友好都市である宮城県多賀城市と、リモートで中学生同士の交流会が行われました。これは平成29年度に始まった『ふるさと夢プロジェクト』という事業です。両市とも市内4中学校から選ばれた各校2名の生徒会役員が学校代表となり、この2名は市から『ふるさと大使』に任命されます。大使として活動する目的は、以下のとおりです。

太宰府の歴史や文化とつながりがある友好都市・多賀城市の歴史や文化に触れたり、現地の中学生との交流を行ったりすることを通して、広い視野から「ふるさと太宰府」について考えることができるようにする。

これまでの活動としては、平成29年度と30年度は、ふるさと大使8名（+引率者）が秋休みの期間に、太宰府市から多賀城市へ行き、交流をしてきました。令和元年度は、太宰府市と多賀城市、共に訪問し合いました。令和2年度はコロナ禍のため、本事業は中止となりました。令和3年度も現地に行き交流する活動は中止となりました。ただし、せっかく始まったこの事業ですので、両市でできることを模索した結果、令和3年度は、リモートの交流を2回行い、そのメンバーがそのまま来年度に、現地に訪問しようということになりました。

そして昨日、第1回目の交流会が行われました。太宰府市役所3階の庁議室にリモート用の機器が準備され、市長をはじめ太宰府市教育委員会の方々、そしてふるさと大使8名、各校生徒会担当教師、各校校長が参加しました。その様子が以下の写真です。



交流会では主に両市の紹介と、代表校の生徒会活動の紹介が行われました。

ちなみに私も以前、この事業に参加をさせていただきました。しかし恥ずかしながら、多賀城市については聞いたこともなく、何も知りませんでした。ですので、ここで私からも多賀城市を少し紹介したいと思います。まずは下の2枚の写真をご覧ください。こちらはどこでしょうか？



「ああ、これは政庁跡」だと思われた方は**正解**です。ただし、これは太宰府政庁跡ではありません。

『多賀城政庁跡』です。ぱっと見た目には大宰府政庁跡とそっくりです。よく見ると、周りの景色が違うことに気づかれるかと思います。かつては、西の大宰府、東の多賀城と言われる、似たような大きな政庁があったそうです。

また、万葉集に関わる歌人、大伴旅人は大宰府政庁に、その息子である大伴家持は多賀城政庁にそれぞれ赴任し、活躍をしたようです。

各市を比べると、それぞれ政令指定都市の近隣に位置し、人口も6~7万人と似た規模であり、市内の中学校はどちらも4校です。

これらのことから、平成17年11月から、太宰府市と多賀城市は友好都市となりました。そして先述のように平成29年度から中学生の交流が始まりました。

話を昨日の交流会に戻します。

本校から参加した生徒会役員2名は、太宰府西中学校生徒会の活動紹介と、意見交換会の司会をしました。2人とも落ち着いて立派な発表や司会をしてくれました。初めて出会った相手に対して、それもリモートのため画面越しでの交流となり、意思の疎通が難しい状況でした。にもかかわらず頑張ってくれた2人でした。これからの活躍がとても期待される2人です。

なお、次回の交流会は2月頃を予定しています。参加した中学生からは『次回が待ち遠しい』、『早く多賀城市に行ってみよう』という声が聞かれました。次回も非常に楽しみです。



プレゼンも上手に作られていました



フリートークで司会をしました。  
アドリブがきいていて、周りの大人は皆、感心していました。